F X REPORT

平成２５年４月４日

「新年度突入、重要指標発表控える」

CHART：EUR/USD　1 時間

15 時間移動平均　45 時間移動平均　90 時間移動平均　200 時間移動平均線

主要経済指標発表予定				
日時	重要度	指標	前回	予想
04/02 08:50	★★	(日)マネタリー・ベース	15.0%	16.3%
04/02 12:30	★★★★★	(豪)RBA 政策金利発表	3.00%	3.00%
04/02 16:55	★★★	(独)3 月製造業 PMI	50.3	50.3
04/02 16:58	★★★	(欧)3 月製造業 PMI	46.6	46.6
04/02 17:30	★★★	(英)3 月製造業 PMI	47.9	48.5
04/02 18:00	★★★	(欧)2 月失業率	11.7%	11.8%
04/02 21:00	★★	(独)3 月消費者物価指数	1.5%	1.3%
04/02 23:00	★★★★	(米)2 月製造業受注指数	-2.0%	2.9%
04/03 09:30	★★★	(豪)2 月貿易収支	-10.57 億豪$	-10.00 億豪$
04/03 18:00	★★★	(欧)3 月消費者物価指数	1.8%	1.6%

F X REPORT

平成２５年４月４日

04/03 22:15	★★★★	(米)3 月 ADP 雇用統計	+19.8 万人	+20.0 万人

（ファンダメンタルズ）

日本でも年度がかわり、新たな四半期に入ってきている。円安一本調子とまではいかないだろうが、潜在的には円安傾向に変わりないとみる。ただ今週は重要指標発表が控えており乱高下には注意したい。

（テクニカルズ）

現状おとなしめの動きをしているが、90 時間移動平均線を超えきれていない。一時的な持合いの状況だが、90・200 時間移動平均線にトライするかどうかがポイントだろう。

為替最前線

キプロスの債務金融問題や､イタリアの連立政権樹立協議の難航など引き続き材料となることが目白押しである。

２５日に合意したユーロ圏のキプロス支援策では、１０万ユーロ以下の預金の全額保護が決まった。小口を含めて全預金への課税を定めた最初の支援策と比べ、国民の抵抗は減った。キプロス各紙も「救済策が成立」「２度目のチャンス」など、債務不履行の回避に安堵しているが、10 万ユーロを超える預金の処理方法が具体的に明らかとなってきている。

10 万ユーロ以内の預金に対し６．７５％、１０万ユーロ超の預金に対し９．９％という当初の衝撃的な「預金課税」案は消え、高額預金者の負担が、清算の内容次第で、20～50％になると予測されている。将来的には、強制的に交換させられた株式が売却できたり配当を貰ったりできるようになる可能性もあり得るが、現状ではそうなる見通しは全くと言っていいほど無いだろう。潜在的な問題としてくすぶり続けるかもしれない。

いずれにせよ新年度に入りアベノミクスの恩恵は一息ついた格好だが、ユーロ圏の問題がくすぶり続けていることを念頭に入れたポジションづくりが必要となってくるだろう。週末に控える米国雇用統計は引き金にならなければよいが。